

11月の相談日です。
日々の生活の中で、誰かに相談したいと思っ
たり疑問に感じていることはありませんか。
そんなあなたからの声に応えるための各種無料相談窓口
を紹介しします。
秘密は厳守されますので、一人で解決しようとせず、ま
ずは相談してみたいかがですか。



静岡県産の茶葉マスコット
チャーマフィン

*市民相談センターは、市役所榛原庁舎北側の就業改善センター2階にあります。

一般相談

日常生活の中での困りごとや悩み、
分からないことなどの相談を受け
付けます。困ったらまずは相談を。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎0088

消費生活相談

契約トラブルや消費者金融、多重
債務、商品苦情など、消費や契約
に関する相談を受け付けます。

会場 市民相談センター
期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
☎市民相談センター ☎0088

法律相談(先着8人)

相続や遺産分割、離婚、多重債務
や債務整理などの法律解釈や手続
き、人権に関する相談などを無料
で受け付けます。弁護士、行政相
談員、人権擁護委員が1回30分
で対応します。
相談時には、参考となる書類など
を持参してください。
相談を受けるには、当日電話予約
が必要です。

期日 11月4日(金)・9日(金)・17日(金)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 市民相談センター
予約 8:30～
*当日電話予約のみ
☎市民相談センター ☎0088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金
銭貸借などの紛争解決。司法書士
と民生委員が対応します。

期日 11月10日(金)・24日(金)
時間 9:00～11:30
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎0088

巡回交通事故相談

県交通事故相談所の専門相談員が、
交通事故に関する相談に応じます。
事前予約が必要です。

期日 11月19日(金)
時間 10:00～15:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎0088

介護相談

介護に困っている人が安心して暮
らせるように介護相談を行っています。
介護保険の活用やサービスの
利用など、介護に関することな
らどんな内容でも受け付けます。
相談内容に応じて専門の相談員が
対応しますので、気軽に相談くだ
さい。

会場 介護保険室(榛原庁舎)
期日 11月8日(金)
時間 9:00～12:00

会場 相良保健センター
期日 11月22日(金)
時間 9:00～12:00
☎介護保険室 ☎0076

行政相談

行政相談員が、行政に対する苦情
や要望などの相談を受け付けます。

期日 11月4日(金)・17日(金)
時間 10:00～12:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎0088

税の無料相談

税務・会計など税に関するあらゆる
相談に無料で応じます。
事前に問い合わせください。

期日 11月17日(金)
時間 13:30～15:30
会場 市民相談センター
☎東海税理士会島田支部 ☎05476575

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思っ
たときの相談です。事前に問い合
わせをして、気軽に相談ください。

期日 11月19日(金)
時間 13:30～16:00
会場 相良保健センター
☎包括支援センターさがら ☎1900



*職員や来庁者など、他人に会うことなく入ることができます

榛原総合病院は紹介状がなくても受診できます。また夕方診療も実施しています。

【患者統計】 特定医療法人沖繩徳洲会の指定管理に移行した3月から8月までの患者推移

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
外来患者数	7,610人	7,062人	7,378人	9,235人	9,473人	9,959人
救急患者数	64人	122人	119人	136人	145人	163人
新規入院患者数	284人	332人	317人	393人	375人	369人

今月は 総合内科



池江亮太 医師 Dr. Ikeda Ryota
宮崎県都城市生まれ。平成9年、防衛
医科大学卒業。卒業後は腎臓内科を
専攻し、平成22年3月から榛原総合
病院内科部長に就任。

榛原総合病院の内科はいわゆる「総合内科」の役割を果
たします。病院の最初の窓口
となり、患者さんの症状や検
査結果からどの分野の疾患で
あるかを見極めます。
診療する疾患は、消化器疾
患、心臓疾患、呼吸器疾患、
腎疾患、肝疾患、内分泌疾患、
神経疾患、血液疾患など多岐
にわたります。必要な検査を
できるだけ迅速に行い、早期
の診断と治療を進めます。

高血圧、高脂血症、糖尿病
などは動脈硬化の原因となり
症状がなくても心臓病や脳卒
中につながることもあるため
隠れた動脈硬化がないか、積
極的に検査を行っています。
栄養指導やリハビリも外来で
可能です。

受けられる検査項目
▼生理検査 心電図、超音波
検査(心臓・腹部・血管・体
表エコーなど)、ABI・TB
I・CAVIなど(動脈硬化
の検査)
▼放射線検査 CTスキャン
(最新鋭の320列CT)、M
RI、ラジオアイソトープ検
査、一般レントゲン ほか
▼検体検査
▼病理検査
*夕方外来診療では実施でき
る検査に制限があります。

病棟診療
現在、病棟には約40人の患

者さんが入院されています。
朝は午前8時から検査や治
療の確認、入院・退院予定の
確認を行い、夕方は担当医と
ともに患者のその日の状況を
確認しています。
毎週水曜日には午後3時か
ら午後5時までの2時間をか
けて総回診を行い、よりよい
医療を目指しています。

内科では急性疾患から慢性
疾患まで幅広い疾患を治療し
ます。専門的な治療が必要な
場合、専門科の医師とも連携
をとって診療を行なっていま
す。また救急外来(E.R.)担
当医師と協力し、緊急患者さ
んの入院を受け入れています。

院外での活動
わたしたちは、「医師は病院
の中にいるだけでなく、積極
的に街に出て病気の話を健康
増進について話をすべきで
ある」と考えています。内科
では週に1、2回、各地域の
公民館などで病気の予防につ
いて医療講演を行っています。
予防に勝る治療はありません。
ぜひ講演を聞いてくださ
い。

最後に「熱中症の話」
この記事が出る頃には涼し
くなっていると思いますが、
今夏、多くの患者さんが発生
した熱中症について述べま

熱中症は暑さによる発汗か
ら、体内の水分や電解質のパ
ランスがくずれやすくなるため
に生じる病気です。汗には塩分も含
まれるため、熱中症の予防に
は水分だけでなく塩分の補給
が重要です。
8月末時点で、熱中症のた
めに病院を受診した患者さん
の数は全国で約4万人。さら
に約4000人が熱中症で命を
落としたと報道されました。
この病院でもERと内科外
来に多くの熱中症の患者さん
が受診されています。その多
くは高齢の人であったので
す。屋外や高温の環境下で仕
事をする若い人も受診してい
ます。

高齢の患者さんからは「も
ともとクーラーが嫌い」、「普
段使わないクーラーが故障し
ていた」という話も聞かれま
した。家族に気をつけてもら
いたいのは、高齢の人はのど
の渇きを感じにくいというこ
とです。暑い日には、家族か
ら、水分や塩分を取って熱中
症を予防するように注意して
もらいたいです。

若い人に気をつけてもらい
たいのは、熱中症の症状は再
発することがあることです。
体のだるさは点滴などですぐ
に回復するかもしれませんが、
その後も数日間体を休める
ことが重要です。